

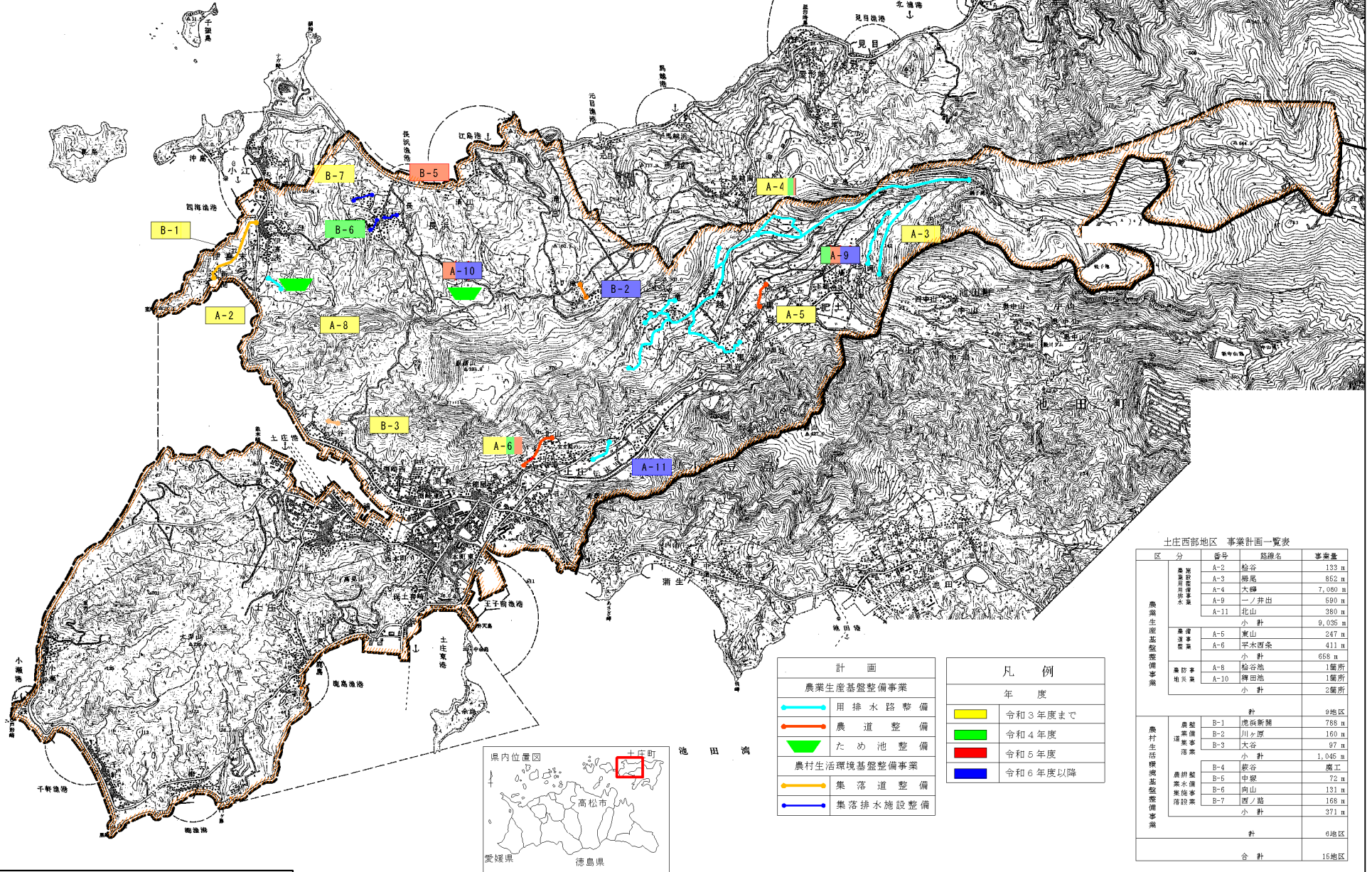
再 評 価 対 象 事 業

農山漁村地域整備交付金
農村集落基盤再編・整備事業
(中山間地域総合整備事業)

土庄西部地区

農政水産部 農村整備課

農村集落基盤再編・整備事業(中山間地域総合整備事業) 土庄西部地区 計画一般図



本地図は、国土地理院発行2万5千分の1の地形図を複製し、加工して作成したものである。

土庄西部地区 事業概要

農業生産基盤 (千円)

工種	番号	路線名	事業量	事業費	B/C
農業用排水 施設整備 (水路・パイプ イン)	A-2	桧谷	133 m	10,026	1.53
	A-3	柵尾	852 m	136,266	1.17
	A-4	大鐸	7,080 m	382,121	1.38
	A-9	一ノ井出	590 m	122,285	1.09
	A-11	北山	380 m	73,500	1.30
	計		9,035 m	724,198	1.27
農道整備	A-5	東山	247 m	69,907	1.05
	A-6	平木西条	411 m	289,688	1.17
	計		658 m	359,595	1.15
農地防災 (ため池整備)	A-8	桧谷池	1ヶ所	42,964	6.27
	A-10	稗田池	1ヶ所	206,500	4.43
	計		2ヶ所	249,464	4.82
農業生産基盤 合計				1,333,257	1.69

農村生活環境基盤 (千円)

工種	番号	路線名	事業量	事業費	B/C
農業集落道 整備	B-1	虎浜新開	788 m	248,431	1.11
	B-2	川ヶ原	160 m	19,453	1.73
	B-3	大谷	97 m	15,344	1.77
	計		1,045 m	283,228	1.18
農業集落排水 施設整備	B-5	中塚	72 m	16,125	1.53
	B-6	向山	131 m	7,325	1.07
	B-7	西ノ路	168 m	9,347	1.10
	計		371 m	32,797	1.30
農村生活環境基盤 合計				316,025	1.19

凡例	完了
	実施中のうち、本年度完了見込
	実施中
	未着手

総事業費(工事雑費・事務費込): 1,731,400千円
工期: 平成25年度～令和8年度予定
受益面積: 81.1ha
総費用総便益比(B/C): 1.59

土庄西部地区 事業投資効果の内訳

単位:千円

事業効果の内訳(年効果額)		地区全体	農業生産基盤	農村生活環境基盤
食料の安定供給の確保に関する効果	作物生産効果	43,787	43,787	
	品質向上効果	16,919	8,842	8,077
	営農経費節減効果	322	322	
	維持管理費節減効果	△ 831	△ 1,204	373
	営農に係る走行経費節減効果	6,741	6,741	
	小計	66,938	58,488	8,450
農業の持続的発展に関する効果	災害防止効果(農業)	19,294	19,294	
		0		
	小計	19,294	19,294	0
農村の振興に関する効果	災害防止効果(一般資産)	25,416	25,416	
	一般交通等経費節減効果	5,571	5,571	
	生活環境改善効果	9,840		9,840
	小計	40,827	30,987	9,840
多面的機能の発揮に関する効果	災害防止効果(公共資産)	4,246	4,246	
		0		
	小計	4,246	4,246	0
計		131,305	113,015	18,290

工事進捗状況(農業生産基盤)

○農業用排水施設整備(5路線)



令和4年度まで完了: 2路線
令和5年度実施中: 2路線
(うちR5完了見込1路線)

○農道整備(2路線)



令和4年度まで完了: 1路線
令和5年度実施中: 1路線
4 (うちR5完了見込1路線)

○農地防災(2ヶ所)



令和4年度まで完了: 1ヶ所
令和5年度実施中: 1ヶ所

工事進捗状況(農村生活環境基盤)

○農業集落道整備(3路線)



令和4年度まで完了:2路線

○農業集落排水施設整備(3路線)



令和4年度まで完了:2路線
令和5年度実施中 :1路線(うちR5完了見込1路線)

再評価の視点及び対策方針(案)

①事業の必要性等に関する視点

1) 農業情勢、農村の状況その他の社会経済情勢等の変化

- 近年の自然災害の激甚化・頻発化に対する住民の防災意識の高まりから、農業用水の確保のみならず、下流の農地、農業用施設はもとより宅地等への被害を未然に防止するため、早急な、ため池整備が求められている(転落防止柵の設置や、ため池の法面には手掛かりになりやすいコンクリート製ブロックマットを使用するなど安全への配慮も行っている)。
- 農業の生産条件が不利な中山間地域において、農業用排水路整備、農道整備により、良好な農業生産基盤を確保し、生産コストや維持管理費の削減により、担い手となる農業者による持続的な営農を可能とするよう求められている。
- 農村における定住環境の改善として、農業集落道による交通の利便性の向上や、農業集落排水の整備により、農村地域に、人々が快適に住み続けるための整備が求められている。

2) 事業の投資効果

- 費用便益比(B/C): 1.59

3) 事業の進捗状況

- 工事進捗率: 75%【令和4年(2022年)度末時点の事業費ベース】

②事業の進捗の見込みの視点

- 本事業は、地元農業者からの申請に基づき実施するもので、早期の事業完了を求められている。
- 地元負担の合意も得られており、協議調整等による遅延もない状況である(1地区、廃工見込みあり)。
- 国・地方の厳しい財政状況のなか、必要な予算確保ができないことから、進捗が遅延しているが、地元農業者のニーズを聞きながら、優先順位を付け、事業実施を行っており、令和8年度には事業完了する見込みとなっている。

③コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

- ストックヤードを活用した工事間の盛土材の融通により、購入や残土処分を抑制し、コスト縮減を図った。
- 今後の実施工事においても、引き続き、コンクリート製二次製品の活用などによるコスト縮減に努める。



対応方針「継続」